

●顕現後第四主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第二十四編」

栄光に輝く王とは誰か。

万軍の主、

主こそ栄光に輝く王。



## ほかの神があつてはならない

私たちは毎週の礼拝において、信仰の告白として十戒を唱和しています。キリスト教の中には、極端な理解から「恵みの時代に律法は不要」と考える人もいますが、正統な教会はそのような立場を常に退けてきました。十戒の後に続く「神と隣人を愛せよ」という二つの戒めも、十戒を不要にするものではありません。むしろ、愛の戒めに真に生きている人は、必然的にその生き方の中に十戒が結実しているのです。

十戒は「神はこれらすべてのことを告げられた」という一文から始まります。当時、シナイ山は火と煙に包まれ、山全体が激しく震えていました。ここで見落とせない重要な事実は、十戒がモーセを通してではなく、神ご自身によつて直接、民に告げられたということです。民が「死んでしまう」と恐れるほどの圧倒的な臨在の中、「この戒めに民のいのちがかかっている」ということでしょうか。神は一人ひとりに直接語りかけられたのです。その厳かな響きの中で、神はまず「わたしは主、あなたの神」と告げられました。

神によつて天地創造は遠い過去ではなく、「つい先ほどのことのように明瞭な出来事です。本来、神が創造し「よい」とされた世界には、律法など必要ありませんでした。そこは戒めがなくとも神と共に歩み、隣人を自分のように愛する世界だったのです。そう考えると、人に十戒を与えなければならぬ現状には、人の墮落に対する神の深い悲しみが滲んでいます。神が、その「人」に十戒を語られたというところには、ご自身の似姿への人への切実な御心を見るものです。その御心から「わたしは主、あなたの神」と呼びかけてくださったと思うのです。しかも、それは世界全体への漠然とした言葉ではなく、「あなた」という単数形で、私個人に向けられた呼びかけでした。

さらに神は、「あなたをエジプトの国、奴隷の家から導き出した」と続けられます。かつて罪の奴隷となり、本来の自分を忘れていた民を買い戻し、「あなたはもう奴隷ではなく、わたしの家のものだ」と宣言されたのです。

その上で、第一の戒め「わたしをおいてほかの神があつてはならない」が語られます。親が子に「私が親だ」とわざわざ言わなければならないとしたら、それは異常なことです。「ほかの神があつてはならない」という戒めも、人が自分の造り主を忘れていくという悲劇を映し出しています。それでも神は、一から関係を築き直すとしておられるのです。

では、ここで禁じられている「ほかの神」とは具体的に何を指すのでしょうか。それは偶像だけでなく、何よりも「自分を神とすること」を指しています。他の戒めに照らすと、その真意がよく分かります。例えば「殺してはならない」を破る時、人は神を差し置いて自分の善悪で憎しみ、妬み、見下すなど、他者を裁くこと、それは自分を神の座に就かせていることに他なりません。「隣人の家を欲してはならない」も同様です。神が与えられた分、その判断に従わず、自分の欲望に従うことだからです。このように一つ一つの戒めを確かめていきますと、他の九つの戒めすべてが、根底においては「自分を神とする」という第一の戒めの違反に集約されるのです。

十戒が第一に教える真理、「あなたは神ではない」です。私たちは神を差し置いて、自分を神とする自分の国を築いてはいないでしょうか。神は十戒を通して、そのような「自分を神とする愚かさ」から私たちを救い出し、まことの神と共に生きる本来の姿へと回復させようとしておられるのです。

私たちは今、煙るシナイ山ではなく、キリストの十字架の前に立っています。十字架、罪に対する神のお怒り、差し伸べられてきた神の慈しみの前に恐れつつ、この第一の戒めを心に受け止めて生きようではありませんか。神は「あなたは奴隷ではなく、わたしの家のものだ」と招いておられます。その恵みに応える第一歩として、目の前の日々において「自分を神としない」、そう生きていくことでありませんか。(出エジプト二〇章一―三節黄 允湜 牧師)

2025年度

## 教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

## わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

## 《今日のお知らせ》

- 礼拝後、信仰者に学ぶ会を地下ホールで行います。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。
- 学ぶ会の後、役員候補者推薦の会を行います。有資格者名簿をお持ちの上、教会員はご参加ください。
- 運営委員会、各小委員会がそれぞれ行われます。
- 本日、吉村和雄名誉牧師は日本キリスト教会高知旭教会で奉仕のため不在です。
- 本日、附属幼稚園の展示会が一〇時～一四時まで園舎で行われます。園児たちの作品をどうぞ御覧ください。
- 七日(土)一四時から小林千勢子姉の葬儀を礼拝堂で行います。
- イースターに受洗、転入会をご希望の方は、二月八日(日)までに牧師宛願書をご提出下さい。願書は事務所にあります。

## 《コイノニア教育センター

## 有志の方々より》

ーコイノニアグッズ販売のお知らせー

本日、ケニアのママたちが作ったバッグやポーチなど、色鮮やかなコイノニアグッズとスイーツを販売いたします。

子ども礼拝のあとと主日礼拝の後、それぞれ二〇分ほど、ディアコニアショップのそばでの販売です。どうぞお立ち寄りください。

## 《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇二十四篇】ダビデの詩。賛歌。

地とそこに満ちるもの

世界とそこに住むものは、主のもの。

主は、大海の上に地の基を置き

潮の流れの上に世界を築かれた。

どのような人が、主の山に上り

聖所に立つことができるのか。

それは、潔白な手と清い心をもつ人。

むなししいものに魂を奪われることなく

欺くものによって誓うことをしない人。

主はそのような人を祝福し

救いの神は恵みをお与えになる。

それは主を求める人

ヤコブの神よ、御顔を尋ね求める人。

城門よ、頭を上げよ

とこしえの門よ、身を起こせ。

栄光に輝く王が来られる。

栄光に輝く王とは誰か。

強く雄々しい主、雄々しく戦われる主。

城門よ、頭を上げよ

とこしえの門よ、身を起こせ。

栄光に輝く王が来られる。

〔司・会〕

栄光に輝く王とは誰か。

万軍の主、主こそ栄光に輝く王。

## 《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「自分のこととして見る心」

聖書 ネヘミヤ記1章5～11節

説教者 宮間 彰広兄

## 《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「エルサレム再建」

聖書 ネヘミヤ記2章9～20節

説教者 吉村 和雄 名誉牧師

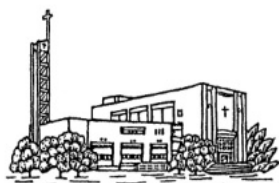
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 76番 195番

説教 「主の導きの中で」

聖書 使徒9章19b～31節

説教者 宮間 彰広兄





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 15番 80番  
説教 「偶像化の禁止」  
聖書 出エジプト20章4～6節(旧約 P.126)  
司式 山下 純一 兄  
聖餐司式 黄 允湜 牧師  
説教者 黄 允湜 牧師

前奏曲「天に在します我らの父よ」 G.ヘーゲル

### ○讃美歌15番

- 1.我らのみかみは 天地すべます  
国々しまじま 喜びたたえよ
- 2.みいつの光は 世界をてらせり  
大地はかしこみ み前にふるえり
- 3.誰かはさからう み神のみわざに  
誰かはなみする み神のみむねを
- 4.よろずの君らよ み前にひれふせ  
すべての力は み神のものなり
- 5.天にも地にも み歌ぞきこゆる  
「われらの神こそ まことの神なれ」

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

### ○聖歌隊による讃美

「あめなるよろこび」 C.ウェスレー作曲

1. 天(あめ)なる喜び こよなき愛を  
携(たずさ)え降(くだ)れる わが君イエスよ  
救いの恵みを あらわに示し  
賤しきこの身に 宿らせたまえ
2. 命を与うる主よ とどまりて  
われらの心を 常(とこ)宮となし  
朝(あした)に夕べに 祈りを捧げ  
たたえの歌をば 歌わせたまえ
3. われらを新たに 創(つく)り清めて  
栄えに栄えを いや増し加え  
御国(みくに)に昇りて 御前(みまえ)に伏す日  
御顔(みかお)の光を 映(うつ)させたまえ  
アーメン

### ○讃美歌80番

- 1.わが主の御業は ことごと正し  
妙なるみむねに 凡てを任せん  
主はわが神なり ともしき時の  
わが助けなり
- 2.わが主の御業は ことごと正し  
うえなき真理は とわに変わじ  
暗きはひかりを よし隠すとも  
いかでか恐れん
- 3.わが主の御業は ことごと正し  
たえなる御旨を 今は知らねど  
忍びて待ちなば 霧もはるる  
あしたはきたらん
- 4.わが主の御業は ことごと正し  
あらしの中にも 安けく憩わん  
主はわが父なり なやめる時の  
わがすくいなり

アーメン

聖餐曲「わが主のみわざは」 S.カル＝エラート 他

後奏曲「試みの世にあれど」 E.ブライトン